ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

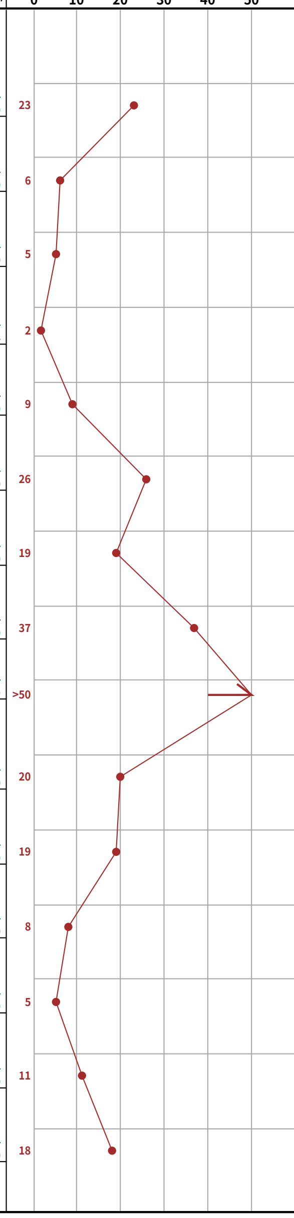
ボーリング名	BR-3(6.25k+65m右岸)	調査位置		北　緯	36 ° 18 ' 30.0000 "
発注機関	栃木県栃木土木事務所	調査期間	2009-11-19 ～ 2009-11-21	東　経	139 ° 46 ' 40.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	24.61 m	角度	上 180° / 下 0°　0.00 °	方向	北 0° / 東 90° / 南 180° / 西 270°
総掘進長	15.45 m	地盤勾配	鉛直 90° / 水平 0°　22.00 °	使用機種	試錐機 / エンジン / ハンマー落下用具 / ポンプ

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
24.16	0.45	0.45	盛土・砂混りシルト互層(/M-S)	茶褐			砂混じりの粘土シルトで植物根混入
22.51	1.65	2.10	盛土・粘土混じり砂礫互層(/GS-C)	暗褐	中ぐらい		φ40mm以下の礫主体
21.71	0.80	2.90	礫混じり砂質シルト(MS-G)	暗褐		中位	均一に細砂を多く混じる φ30mm以下の円礫を少量混じる 2.35m付近まで微量の有機物を混じる
20.81	0.90	3.80	砂混じりシルト(M-S)	暗褐		中位	少量の微細砂を混じり、有機物を点在する
20.01	0.80	4.60	シルト質細砂(FSM)	暗灰	非常に緩い		細砂、微細砂主体で含水多く緩い
19.81	0.20	4.80	砂混じりシルト(M-S)	暗灰			少量の微細砂混じる
17.91	1.90	6.70	砂礫(GS)	暗灰～暗褐灰	中ぐらい		4.80～5.50mはφ25mm以下の円礫主体 5.50m以深はφ40mm程度となる 礫間は中～粗砂で緩く充填される
15.21	2.70	9.40	粘土混じり砂礫(GS-C)	暗灰～暗緑灰	中ぐらい		8.30mまでは暗灰でφ40mm程度以下の円礫主体 礫間は中～粗砂及びシルト質粘土で充填される 8.30m以深は暗緑灰となり礫径はφ65mm程度以下となる 部分的に粗砂や粘土分を多く混じる
13.21	2.00	11.40	シルト混じり細砂(FS-M)	暗褐灰	中ぐらい		細砂が主体で不規則にシルトを混じる 細砂は黒灰を帯び、シルト部は暗褐
10.01	3.20	14.60	シルト(M)	暗灰		中位	全体に暗緑灰を強く帯びる 微細砂を少量混じる 所々で固結状
9.61	0.40	15.00	砂質シルト(MS)	暗灰			所々に細砂を多く混じる
9.16	0.45	15.45	中砂(MS)	暗灰～黒灰	中ぐらい		中砂主体で微量のシルト分を含む

孔内水位(m)／測定月日: 11/19 3.23

標準貫入試験

深度 (m)	0-10	10-20	20-30	打撃回数/貫入量 (cm)	N値
1.15～1.45	8	7	8	23/30	23
2.15～2.45	2	2	2	6/30	6
3.15～3.45	1	2	2	5/30	5
4.15～4.49	1/17	1/17		2/34	2
5.15～5.45	2	3	4	9/30	9
6.15～6.45	11	10	5	26/30	26
7.15～7.45	9	8	2	19/30	19
8.15～8.45	12	13	12	37/30	37
9.15～9.24	50/9			50/9	>50
10.15～10.45	6	7	7	20/30	20
11.15～11.45	7	7	5	19/30	19
12.15～12.45	2	3	3	8/30	8
13.15～13.45	1	2	2	5/30	5
14.15～14.45	3	4	4	11/30	11
15.15～15.45	4	6	8	18/30	18



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
5.00～5.50	現場透水試験 k=2.27E-02(cm/s)

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験
1.15～1.45	P3-1	⊖	物理
2.15～2.45	P3-2	⊖	物理
2.90～3.60	U3-1		物理、三軸
4.15～4.49	P3-3	⊖	物理
5.15～5.45	P3-4	⊖	物理
7.15～7.45	P3-5	⊖	物理
8.15～8.45	P3-6	⊖	物理
10.15～10.45	P3-7	⊖	物理
12.15～12.45	P3-8	⊖	物理
14.15～14.45	P3-9	⊖	物理
15.15～15.45	P3-10	⊖	物理

掘進月日: 11/19, 11/20, 11/21